

戦時下の東北学院 を語る



2018年12月1日(土)

13:00~16:00

東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館 地階ホール

**申込不要
入場無料**

駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

1941年12月に始まった太平洋戦争は、東北学院にとって、かつてない苦難と試練をもたらす。高等学部礼拝堂のステンドグラスは覆い隠されて日の丸が掲げられ、中学部正面玄関の「LIFE LIGHT LOVE」の建学の標語も「目障りな米英標語」と指摘されて、自主的に塗りつぶさざるを得なくなった。そして、東北学院はその存立を図るために、東北学院航空工業専門学校の設置という選択を強いられることになった。

この時期に「軍国少年」として幼少期を過ごされたお二人を講師に迎える。戦時下の東北学院を見聞きしたお二人から、今語り継いでおきたいこと、今だから話せることを語っていただく。



「15年戦争を生きた キリスト教」

講師 出村 彰 (本学名誉教授・学校法人宮城学院名誉理事)



「戦時下の東北学院を語る —見聞きしたことを中心に—」

講師 志子田 光雄 (本学名誉教授)

東北学院大学
土樋キャンパス案内図



主催：学校法人東北学院 東北学院史資料センター

TEL.022-264-6538

E-mail.archive@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

共催：東北学院大学研究ブランディング事業